

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2	学年	1
学科 ・ コース	普通科 特進コース、看護医療進学コース						
教科書	東京書籍 化学基礎	副教材	東京書籍 ニューステップアップ 化学基礎				
科目の概要	「化学」とは物質について学ぶ学問である。人類がどのように物質を探究し、利用してきたのか、また、私たちは物質とどのように関わっているのかを理解するために物質の成り立ちや性質について学習する。 個々の物質の性質を学ぶことで、体系的な化学変化の法則性を見出し、現代社会がさまざまな科学技術の上に成り立っていることを理解する。			評価の観点	知識・技能…知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 思考・判断・表現…習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 主体的に学習に取り組む態度…知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自身の学習状況についての振り返りや学習方法を試行錯誤するなどの工夫ができているか。		
授業内容	1学期 中間 第1編 化学と人間生活 第2章 物質とその構成要素 期末 第2編 物質の構成 2学期 中間 第3編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 期末 第2章 酸・塩基 3学期 第3章 酸化還元反応			評価方法	定期考査、小テストから知識・技能を、実験レポート、提出課題、グループワークなどから思考・判断・表現を、授業態度や提出状況などから主体的に学習に取り組む態度を評価し、さらにそれらを総合的に評価する。		
				学習方法	身の回りの事象や、それに対する疑問など、生活に関連した事柄を学ぶ。また、授業内に多く演習を取り入れ、問題になれる。 実験も適宜行い、器具の扱い方、レポートの書き方などを学ぶ。 タブレットでの学習や、グループワークなど、積極的に取り入れる。		
				備考			

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2	学年	1
学科 ・ コース	普通科 英語、総合キャリア、スポーツ、幼児教育、音楽コース 美術科 アート・イラスト・アニメーションコース						
教科書	数研出版 改訂版 生物基礎		副 教 材	数研出版 リードLight ノート 生物基礎			
科目 の 概 要	日常生活の中で、身近な存在である生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を身に付けるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解することで、科学的な見方や考え方を養う。			評 価 の 観 点	知識・技能…知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 思考・判断・表現…習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 主体的に学習に取り組む態度…知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自身の学習状況についての振り返りや学習方法を試行錯誤するなどの工夫ができているか。		
	授 業 内 容	1 学期 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝子とDNA 第2節 遺伝情報の複製と分配 2 学期 第2章 遺伝子とその働き 第3節 遺伝情報の発現 第3章 体内環境と恒常性 3 学期 第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移 第2節 植生の分布とバイオーム 第3節 生態系と生物の多様性			評 価 方 法	定期考査、小テストから知識・技能を、実験レポート、提出課題、グループワークなどから思考・判断・表現を、授業態度や提出状況などから主体的に学習に取り組む態度を評価し、さらにそれらを総合的に評価する。	
			学 習 方 法	授業をよく聞き、黒板に書かれた事柄以外も記入するとよい。その日のうちに授業のノートを見返すことで復習を行い、理解を深める。疑問点は放っておかず、必ず質問するようにする。くり返し問題を解いて知識を身につけていく。宿題が出たときは、その日のうちに取り組むとより効果的である。			
			備 考				

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2	学年	1
学科 ・ コース	普通科 総合キャリアコース						
教科書	東京書籍 化学基礎		副教材	東京書籍 ニューアチーブ 化学基礎			
科目の概要	「化学」とは物質について学ぶ学問である。人類がどのように物質を探究し、利用してきたのか、また、私たちは物質とどのように関わっているのかを理解するために物質の成り立ちや性質について学習する。 個々の物質の性質を学ぶことで、体系的な化学変化の法則性を見出し、現代社会がさまざまな科学技術の上に成り立っていることを理解する。			評価の観点	知識・技能…知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 思考・判断・表現…習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。 主体的に学習に取り組む態度…知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自身の学習状況についての振り返りや学習方法を試行錯誤するなどの工夫ができているか。		
				評価方法	定期考査、小テストから知識・技能を、実験レポート、提出課題、グループワークなどから思考・判断・表現を、授業態度や提出状況などから主体的に学習に取り組む態度を評価し、さらにそれらを総合的に評価する。		
授業内容	1学期 中間 第1編 化学と人間生活 第2章 物質とその構成要素 期末 第2編 物質の構成 2学期 中間 第3編 物質の変化 第1章 物質質量と化学反応式 期末 第2章 酸・塩基 3学期 第3章 酸化還元反応			学習方法	身の回りの事象や、それに対する疑問など、生活に関連した事柄を学ぶ。また、授業内に多く演習を取り入れ、問題になれる。 実験も適宜行い、器具の扱い方、レポートの書き方などを学ぶ。 タブレットでの学習や、グループワークなど、積極的に取り入れる。		
				備考			

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2	学年	1
学科 ・ コース	普通科 特進、看護医療進学コース						
教科書	数研出版 改訂版 生物基礎		副教材	数研出版 リードα 生物基礎			
科目の概要	日常生活の中で、身近な存在である生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を身に付けるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解することで、科学的な見方や考え方を養う。			評価の観点	知識・技能…知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。 思考・判断・表現…習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。主体的に学習に取り組む態度…知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自身の学習状況についての振り返りや学習方法を試行錯誤するなどの工夫ができているか。		
	1 学期 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とその働き 2 学期 第3章 体内環境と恒常性 第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移 3 学期 第2節 植生の分布とバイオーム 第3節 生態系と生物の多様性 第4節 生態系のバランスと保全			評価方法	定期考査、小テストから知識・技能を、実験レポート、提出課題、グループワークなどから思考・判断・表現を、授業態度や提出状況などから主体的に学習に取り組む態度を評価し、さらにそれらを総合的に評価する。		
				学習方法	授業をよく聞き、黒板に書かれた事柄以外も記入するとよい。その日のうちに授業のノートを見返すことで復習を行い、理解を深める。疑問点は放っておかず、必ず質問するようにする。くり返し問題を解いて知識を身につけていく。宿題が出たときは、その日のうちに取り組むとより効果的である。		
				備考			